

# 長崎市における住環境教育に関する研究

— 出島六町と浦上山里村 —

佐々野 好 継\*

(平成16年3月15日受理)

## A Study on the Education of Living Environment in Nagasaki

Yoshitsugu SASANO\*

(Received March 15, 2004)

### 1. 序

#### 1. 1 背景

「環境の保全」は、これからの時代のキー・ワードである。長崎には、文化的環境エリアとしての「長崎八景」があり、また、浦上は、地域・平和学習のフィールドとして現在も機能している。

#### 1. 2 目的

長崎八景の文化を生んだ「出島」、里山の地名がのこる「浦上」の環境教育における学習内容の展開と指導に関する試論が、本研究の目的である。

#### 1. 3 方法

2つのフィールド調査の結果を比較分析し、統計学上の一致差異併用法を適用する。

#### 1. 4 意義

地域「対」概念の分析が、環境教育の学習において有効であることを明らかにした点である(図表1)。

#### 1. 5 学習指導上の位置

##### (1) 「住環境」の位置

「住環境」の用語は、高等学校の「家庭総合」、「生活技術」、および「工業」の建築計

---

\*長崎大学教育学部家政教育

画の中に位置付けられている。

## (2) 関連教科との関係

関連教科に関する学習指導要領の内容を、以下に示す。

### 1. 小学校・生活 [第1・第2学年] 2. の内容 (1)

「学校の施設、遊びや生活、通学路に関心を持ち、安全な登下校ができるようにする。

### 2. 小学校・社会 [第3・第4学年] 目標 (3)

地域における社会的事象を観察、調査し、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力を育てるようにする。

### 3. 小学校・理科 [第6学年] 目標 (3)

土地のつくりを自然災害と関連付けながら調べ、見いだした問題を多面的に追及する活動。

### 4. 中学校・社会 [地理的分野] [歴史的分野] [公民的分野]

日本は、自然災害が発生しやすく防災対策が大切であること [地理的分野]。町民文化が都市を中心に形成されたこと [歴史的分野]。

国民生活と福祉、および環境の保全 [公民的分野]。

### 5. 高等学校・保健体育 [保健]

個人及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てること。

### 6. 高等学校・公民 [現代社会] [倫理] [政治・経済] 3内容の取り扱い

中学校社会科、公民科に属する他の科目、地理歴史及び家庭科などとの関連を図るとともに、全体としてのまとまりを工夫し、特定の事項だけに偏らないようにすること。と説明・記述している。

## (3) 環境保全

高等学校・専門の「農業」、また、高校・社会などの中に、記述・位置付けられている。

## 2. 環境教育における学習指導の展開

### 2. 1 はじめに

まず、工業・建築計画と高校・公民的分野(社会)の複合的学習内容から、中学校・歴史的分野と高校家庭科・住居の複合的学習内容の手順で展開する。

### 2. 2 工業・建築計画と高校・公民的分野の学習と環境教育

まず、都市計画図で出島・浦上環境の把握・位置付けをする。次に居住水準(公民的分野)・住居(住環境)の視点で環境問題を学習する。

### 2. 3 中学・歴史的学习と住環境教育

#### (1) はじめに

出島と浦上の地域・歴史について学習する。

#### (2) 出島と浦上

歴史年表を以下に示す(図表1)。

出島	浦上
[中世]	
1571年 長崎六町（貿易基地都市） ポルトガル船の入港	
[近世]	
1605年 大村領長崎村（公領）	
1609年 オランダ商館設立（平戸）	
1616年 オランダ・イギリス貿易	
1634年 めがね橋（中島川） 諏訪神社（おくんち）	
1636年 出島完成	
1639年 オランダ・中国貿易	
1673年 長崎奉行所（立山）	
1698年 長崎会所	
1795年 長崎大水害	
1828年 台風被害	
1859年 長崎・神奈川・函館開港	
[近代]	
1911年 長崎県庁（外浦町）	
[現代]	1945年 原爆投下
1965年 県立美術館落成	1972年 サントス市・姉妹都市
1978年 ポルト市・姉妹都市	
1978年 ミデルブルグ市・姉妹都市	
1980年 中国・福州市・姉妹都市	

図表1 長崎の歴史年表

(3) おわりに

1. 「水害」と「台風」の問題が、長崎市の環境教育における問題解決的学習の視点として、重要であることがわかる（2. 2）。

2. 4 出島六町（仮称）と環境教育

(1) はじめに

環境→地域→住居の視点で学習・指導する。

(2) 長崎八景

長崎の町民は、長崎八景を文化として形成してきている。これは、現在の環境保全の面から重要なテーマであることを学習する（図1）。

(3) 環境の構造軸

「山一坂道一海」が、その構造軸であることを学習する（図1）。

## (4) 出島六町の変遷 [社会]

内町から外町へと変遷してきている。これは、日本人の社会秩序に関する学習（国語）と関係付けて指導する。（図2）。

## (5) 住居 [技術・家庭]

出島のミニチュアで学習する（社会学習）。また、これは、建築の学習（屋根の形は「算数」）の意味でも適切な材料である。

## (6) おわりに

出島六町は、歴史的住環境の教育だけではなく、総合的学習が展開できるフィールドである。

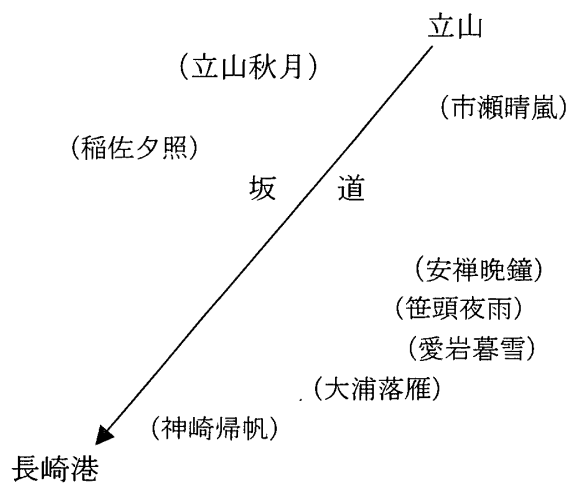


図1 長崎八景

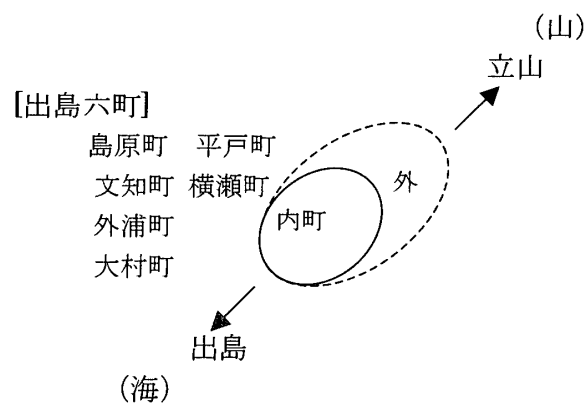


図2 出島6町

## 2. 5 浦上山里村（仮称）と環境教育

### （1）はじめに

一致差異併用法の適用のため，出島6町と同じ，環境→地域→住居の視点で学習・展開する。

### （2）浦上の変遷

旧村の浦上村と淵村から，「海（前）—浦上山里村—山（奥）」の軸線の存在について学習する。

### （3）環境の構造軸

出島の「山—坂道—川」の構造軸が，浦上環境においても潜在的に機能している。

### （4）平和学習施設と環境

これまでの「平和学習」施設—平和公園，如己堂などに「稲佐山」から見る浦上山里村の景観を視点に加えての平和環境教育の学習の展開。

### （5）住居

如己堂の体験的学習は，建築の面からも典型的な住居である。算数の数学的活動（測量の実体験）の意味でも活用できる複合題材である。

### （6）おわりに

浦上もまた，総合的学習が展開できるフィールドである。

## 3. 結論と提案

長崎市における住環境教育の学習・指導には，出島6町と浦上山里村を「対」で把握する視点が有効であると結論付け・提案する。